



「工大サミット」が創設されました。



3月3日（金）、大阪工業大学梅田キャンパスにおいて「工大サミット」の創設が発表されました。この「工大サミット」は各地の「工業大学」が抱える共通課題の解決に取り組むため、グッド・プラクティス（優れた取り組み）や教育・研究活動に関する情報を共有、各種事業の共催などをベースに強固な協力関係を構築し、理工学系高等教育の更なる活性化を図るため発足されました。

参加の5大学は大阪工業大学、愛知工業大学、芝浦工業大学、広島工業大学、福岡工業大学です。まずは6月、大阪工業大学梅田キャンパスを会場にキックオフイベントが開催の予定です。今後は国公立理工学系大学の参画も想定されていますが、とくに参加大学の学長による討議を活動の基軸におくことから、「サミット」と命名されました。

本学の下村学長は「日本の大学発ベンチャーで世界に挑みたい。各大学のリソースを集め、金融機関にファンドを作るなど、東南アジアでのリーダーシップを目指したい。」とコメントされました。



記者の質問に答える下村学長



当日の発表会の様子

この件のお問い合わせは広報課

掲示期間 H-28-312
3月13日～29日